

事業カルテ (2年度決算) 合体カルテ (サブカルテ有り) 図書館

10-05-03-655~659 図書館事務経費・図書整理事業・図書購入事業・図書館運営経費・障がい者サービス事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	A2-1	A2-2	B4-1	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、第四次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館、多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館再整備基本計画					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年の開館以来貸出サービスを中心に市民の読書を支え、図書館網を整備してきた。平成17年度にインターネット対応、学校図書館との連携等図書館システムの再構築を実施。23年度には唐木田図書館を業務委託方式で開館。28年度に読書活動振興計画を策定。30年度に図書館コンピュータシステムを更新した。					

◇令和2年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和2年度の目標	持続可能な社会を目指し、すべての市民が必要とする資料や情報を得ることを支援し、気軽に利用できる図書館サービスの実現のため積極的な図書館活動を推進する。市役所内各課の事業と連携し、関連したテーマの本の企画展示を実施し、健幸まちづくりに繋がる事業への取り組み等を広く情報提供する。図書購入事業において中央図書館分の図書購入を進める。令和2年10月に関戸・永山図書館においてICタグ関連機器の運用を予定し、図書整理事業・図書館運営経費に関係予算を計上している。	
予算の執行方法	図書館運営全体にかかる経費。人件費、図書費、施設維持管理費、業務委託料等の執行。	
事業の成果	多摩市読書活動振興計画に基づいた運営に取り組み、市民の読書活動の振興につなげるとともに、図書館運営の向上を図った。令和2年10月に関戸・永山図書館にセルフ貸出機等を導入し、利用者の利便性を高めた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来館せずに情報を提供できるサービスとして令和3月1月から電子図書館サービスを開始した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	281,860 千円	269,337 千円	290,365 千円	270,519 千円	390,297 千円	
事業にかかる実コスト	675,913 千円	604,234 千円	615,578 千円	595,165 千円	698,910 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	1,187 千円	1,194 千円	1,116 千円	856 千円	1,109 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	1,262 千円	1,678 千円	1,484 千円	1,352 千円	1,238 千円
	一般財源	279,411 千円	266,465 千円	287,765 千円	268,311 千円	387,950 千円
間接経費						
職員人件費	323,869 千円	262,098 千円	247,818 千円	235,760 千円	228,194 千円	
《従事人員数》	35.00 人	29.74 人	29.50 人	27.47 人	27.26 人	
その他の人件費	70,184 千円	72,799 千円	77,395 千円	88,886 千円	80,419 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	図書館の開館日数 (市内いずれかの図書館が開館している日数)	目標	359日	357日	356日
		結果	351日	310日	—
成果指標 (アウトカム)	資料の貸出冊数	目標	1,727,000冊	1,727,000冊	1,692,000冊
		結果	1,537,505冊	1,193,437冊	—

特記事項 平成29年度より図書館本館再整備事業、令和2年度より地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業を除いた図書館事業カルテとしている。令和2年4月8日から5月24日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全館臨時休館したことにより、図書館の開館日数は目標を下回った。

◇自己点検

の 成 果 指 標 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
C	A	A	ウ	中央図書館の整備にあたりサービスの向上と運営の効率化を図るため、事業、運営の見直しを進める。

サブカルテ (2年度決算)		図書館運営経費	図書館
10-05-03-658	子どもの読書活動推進に係る経費		

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	子どもの読書活動の推進に関する法律			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	A2-1	A2-2	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、多摩市読書活動振興計画、多摩市立図書館本館再整備基本計画					
関連する報告書など	多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市の教育、多摩市の図書館					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	<ul style="list-style-type: none"> 計画の策定、推進 平成18年11月多摩市子どもの読書活動推進計画(第一次)、平成24年2月第二次計画、平成30年3月第三次計画を策定した。第三次計画を着実に推進していくためにアクションプランを作成し、担当課・小・中学校が毎年、振り返りを行い、更新している。 組織の見直し 平成25年度に図書館の組織全体の見直しを行い、「子ども読書支援係」を設置した。なお、本カルテは平成27年度から開始した。 					

◇令和2年度の事業の実施内容

事業の目的、 令和2年度の目標	アクションプランに基づく第三次計画の施策の推進。	事業開始の時期	平成18年度
予算の執行方法	図書購入費(新聞購読、書籍購入)、図書館運営経費(報償費、消耗品)の適正な執行。		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症の拡大のため、啓発事業では多くを中止としたが、図書館主催事業(読み聞かせ講座1回)、子ども読書まつり《ほんともフェスタ》は、展示を中心とした内容とし開催した。 ②小学校2年生を対象とした図書館訪問が実施できない学校には、図書館紹介のDVDを作成し貸与した。 ③多摩市電子図書館の導入に伴い、児童書、ティーンズ向けの電子書籍の所蔵、PRを開始した。 ④本館こども図書室に「多読コーナー」を設置し、PRを開始した。 		

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	12,120 千円	11,092 千円	13,530 千円	12,170 千円	13,633 千円	
事業にかかる実コスト	37,752 千円	34,887 千円	39,740 千円	40,235 千円	36,151 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	12,120 千円	11,092 千円	13,530 千円	12,170 千円	13,633 千円
	間接経費					
職員人件費	25,632 千円	23,795 千円	26,210 千円	28,065 千円	22,518 千円	
《従事人員数》	2.77 人	2.70 人	3.12 人	3.27 人	2.69 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	乳幼児、児童、ティーンズ向け図書(雑誌を除く)購入費	目標	11,515千円	11,000千円	9,460千円
		結果	11,170,686円	13,038,915円	—
成果指標 (アウトカム)	乳幼児、児童、ティーンズ向け図書の貸出冊数(市立図書館・学校図書館)	目標	883,000冊	883,000冊	794,000冊
		結果	814,251冊	721,757冊	—

特記事項	—
------	---

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
N	A	A	I	子どもの読書活動推進に関する図書館内の体制づくり。 第三次計画の推進。特に小・中学校及び関係課との連携。

サブカルテ (2年度決算) 障がい者サービス事業 図書館

10-05-03-659 障がい者サービス事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	B4-1	-	-	-	-	
関連する個別計画	多摩市読書活動振興計画、多摩市立図書館本館再整備基本計画						
関連する報告書など	多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市の教育、多摩市の図書館						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	国際障がい者年の昭和56年から障がい者向け録音図書の出発を開始し、平成9年開館の永山図書館を障がい者サービスの拠点館とする。26年度からは国立国会図書館の視覚障がい者等用データベースに多摩市で作製したデータの提供を開始した。29、30年度音訳者新規養成のための講座を開催。令和元年度視覚障がい者等用情報機器の更新を行った。						

◇令和2年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和2年度の目標	何らかの障害により、印刷文字による読書が困難な方や図書館へ来館するのが困難な方などの読書要求に応えていくことを目的とする。 令和2年度は前年度に更新した障がい者等用情報機器の活用を進め、様々な障害を持つ方の読書環境の向上を図る。	
予算の執行方法	音訳編集研修の講師及び行政協力員等の謝礼、録音・点字図書等の消耗品、障がい者等用情報機器借上料の執行。	
事業の成果	録音図書及び点字図書の作製、対面朗読や図書の宅配サービス、視覚障がい者等用情報機器によるインターネットを利用した情報ネットワークサービス等を提供することで、障害を持った方々の利便性を向上させ、様々な読書要求に応えた。視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)に沿い、アクセシブルな電子書籍等(音声読み上げ対応の電子書籍、オーディオブック、マルチメディアデジター図書等)の利用促進を図った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	2,374 千円	2,390 千円	2,233 千円	1,711 千円	2,218 千円	
事業にかかる実コスト	22,460 千円	22,516 千円	16,925 千円	12,708 千円	17,640 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	1,187 千円	1,194 千円	1,116 千円	856 千円	1,109 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,187 千円	1,196 千円	1,117 千円	855 千円	1,109 千円
	間接経費					
職員人件費	17,859 千円	17,626 千円	8,989 千円	6,094 千円	12,808 千円	
《従事人員数》	1.93 人	2.00 人	1.07 人	0.71 人	1.53 人	
その他の人件費	2,227 千円	2,500 千円	5,703 千円	4,903 千円	2,614 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	録音図書・雑誌、点字図書の作製数	目標	27タイトル	22タイトル	28タイトル
		結果	33タイトル	39タイトル	—
成果指標 (アウトカム)	録音図書、点字図書の利用件数+対面朗読実施回数+利用者への宅配回数	目標	4,175件	3,814件	3,566件
		結果	3,440件	2,769件	—

特記事項 —

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
C	A	A	イ	視覚障がい者へのサービスから、図書館利用に障害のある人へのサービスへと変化があり、施設整備も含めた対応が求められる。

<図書館事務経費>

◇執行状況及び成果等

- 1 多摩市図書館協議会委員の構成 7人
(内訳：学識経験のある者2人、学校教育の関係者1人、社会教育の関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者1人、図書館を利用する者2人)
- 2 多摩市図書館協議会開催状況及び報酬内訳

(円)

年度	開催回数	委員報酬額	内訳
28	3回	124,200	会長12,500×3回 副会長11,800×1回 委員10,700×7回
29	4回	235,200	会長12,500×4回 副会長11,800×3回 委員10,700×14回
30	4回	235,200	会長12,500×4回 副会長11,800×3回 委員10,700×14回
元	5回	314,100	会長12,500×5回 副会長11,800×5回 委員10,700×18回
2	4回	268,400	会長12,500×4回 副会長11,800×4回 委員10,700×16回

- 3 多摩市図書館協議会の主な検討内容

開催日	主な検討内容
7月3日	・令和元年度多摩市立図書館事業評価について
8月21日	・令和元年度多摩市立図書館事業評価について
10月30日	・令和元年度多摩市立図書館事業評価【外部評価】について ・電子図書館システム導入に伴う図書館資料の貸出点数等の変更について
2月16日	・多摩市立図書館事業評価の評価方法について

- 4 主な経費（役務費）

(円)

年度	合計	特定通信回線使用料	電話料	プロバイダ利用料
28	4,500,458	1,567,277	1,769,343	1,163,838
29	4,478,009	1,567,277	1,746,894	1,163,838
30	6,505,606	4,006,765	1,679,603	819,238
元	7,019,863	4,236,012	1,645,231	1,138,620
2	6,961,507	4,272,948	1,645,759	1,042,800

<図書整理事業>

◇執行状況及び成果等

1 製本業務委託料

資料の活用可能期限を延長するため、資料に製本・修理を講じ、多くの市民に資料を提供する。

年度	製本		修理			
			保護		CD研磨	
	冊数 (冊)	金額 (円)	冊数 (冊)	金額 (円)	枚数 (枚)	金額 (円)
28	71	246,240	1,153	149,427	90	38,880
29	78	289,871	870	112,752	72	31,104
30	73	258,444	528	91,238	184	79,488
元	72	261,140	385	67,760	248	109,120
2	75	268,180	625	110,000	120	52,800

2 ICタグ貼付エンコード作業業務委託料

ICタグを利用した蔵書管理のために、図書館資料にICタグを貼付、資料管理に必要な情報の書き込み(エンコード)作業を業務委託により行った。令和2年度決算額 45,045,000円

3 電算機可読目録使用料

電算機可読目録(MARCマーク)は、コンピュータ上で検索などの機能に対応するように作られた書誌目録データである。

平成18年3月に稼動した図書館システムは平成30年7月に第V期に更新され、これまでの書誌情報に加え、受賞情報や書評情報がわかる可読目録にレベルアップした。市内小・中学校の学校図書館と共有化されており、資料の詳細を取り込み、所蔵の表記等に加え、図書館全館の検索用目録並びに発注等事務に使用している。

令和2年度決算額 2,904,000円

<図書購入事業>

◇執行状況及び成果等

1 過去5年間の蔵書数の推移

年度	購入	寄贈/その他	除籍	蔵書	増減	人口(人)	市民1人当り
28	26,294	4,428	39,545	737,267	△ 8,823	148,511	4.96
29	25,181	2,751	19,887	745,312	8,045	148,654	5.01
30	24,121	3,430	16,174	756,689	11,377	148,691	5.09
元	23,363	4,265	31,267	753,050	△ 3,639	148,835	5.06
2	25,349	3,685	23,325	758,759	5,709	148,411	5.11

*平成25年度から28年度までは、汚損・破損資料を中心に廃棄を進めた。

*令和2年度の電子書籍コンテンツ数は4,074点(購入4,062点、多摩市独自資料12点)である。

2 過去5年間の図書購入事業費の推移

(円)

年度	合計	内訳				
		11節(雑誌・新聞)	14節(オンラインデータベース)	14節(電子図書館)		18節(書籍・CD、カセット等)
				コンテンツ使用	システム使用	
28	55,584,344	8,913,077	1,672,236	—	—	44,999,031
29	56,140,404	9,008,028	1,672,236	—	—	45,460,140
30	56,375,792	9,191,956	1,683,900	—	—	45,499,936
元	56,869,600	9,406,714	1,948,087	—	—	45,514,799
2	93,972,308	9,510,008	1,965,902	15,103,999	198,000	67,194,399

*令和2年度から中央図書館用図書を計画的に購入している。

3 学校図書館への支援(調べ学習充実のための資料)

年度	購入額(円)	購入点数(冊)	主な購入図書
28	502,415	208	すがたをかえる食べもの 全7巻セットほか
29	998,174	238	オリンピック・パラリンピック大百科 全7巻セットほか
30	549,838	147	ポプラディア情報館ほか
元	534,127	196	マイクロワールド人体大図鑑 全7巻セットほか
2	501,871	162	調べようごみと資源 全6巻ほか

*平成25年度から新たな小学生への読書支援として図書購入事業の一部を充当した。

<図書館運営経費>

◇執行状況及び成果等

1 令和2年度の利用状況(個人利用)

館名	開館日数	貸出者数	貸出冊数	予約件数	利用者割合
図書館本館	290	105,146人	292,178冊	82,922件	21.6%
東寺方図書館	259	24,716人	65,374冊	23,687件	5.1%
豊ヶ丘図書館	259	46,062人	115,147冊	39,294件	9.5%
関戸図書館	264	98,102人	215,623冊	79,603件	20.2%
聖ヶ丘図書館	259	28,749人	72,241冊	27,371件	5.9%
永山図書館	264	141,410人	327,483冊	121,674件	29.1%
唐木田図書館	259	39,532人	100,440冊	37,677件	8.1%
行政資料室	214	2,404人	4,951冊	4,390件	0.5%
合計	—	486,121人	1,193,437冊	416,618件	100.0%

*予約件数には多摩市立図書館未所蔵資料への申込み(リクエスト)も含む。

2 図書館本館及び関戸図書館施設管理経費

(円)

年度	図書館本館			関戸図書館		
	修繕料	維持補修工事	保守業務委託	修繕料	維持補修工事	保守業務委託
28	1,522,035	230,040	14,076,742	19,656	22,680	1,198,800
29	1,609,952	75,600	13,927,261	120,150	0	1,414,800
30	1,217,235	0	14,358,756	54,000	158,544	1,630,800
元	1,185,646	0	15,445,999	256,525	0	1,655,740
2	409,937	0	16,115,178	880,660	0	1,749,000

3 おはなし会実施状況

館名	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
図書館本館	89回	1,222人	127回	1,129人	99回	877人	96回	865人	24回	145人
東寺方図書館	28回	269人	24回	173人	26回	184人	23回	131人	8回	64人
豊ヶ丘図書館	46回	595人	48回	586人	47回	561人	37回	682人	1回	25人
関戸図書館	73回	829人	70回	691人	63回	495人	41回	346人	3回	18人
聖ヶ丘図書館	107回	618人	94回	765人	61回	585人	51回	488人	10回	134人
永山図書館	83回	1,143人	71回	1,002人	71回	977人	62回	570人	3回	6人
唐木田図書館	43回	392人	43回	324人	45回	486人	39回	302人	8回	58人
合計	469回	5,068人	477回	4,670人	412回	4,165人	349回	3,384人	57回	450人

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月～10月、令和3年1月～3月のおはなし会は中止した。ただし、7～10月は各館の状況に応じ、感染拡大防止対策を講じた上で、職員によるおはなし会を試行として実施した。

4 ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業実施状況

年度	開催回数	対象者数	絵本配付者数 (うち健診日以外の配付者数)	配付率	絵本等購入費 (絵本、布バック)	市民ボランティア 協力者延人数
28	24回	941人	935人(21人)	99%	469,800円	103人
29	24回	989人	981人(28人)	99%	299,538円	109人
30	24回	916人	899人(18人)	98%	475,200円	113人
元	23回	874人	860人(8人)	99%	478,720円	96人
2	18回	802人	785人(11人)	98%	290,400円	0人

- *健康センターで実施している「3～4か月児健康診査」で絵本、ブックリスト等を配付。
- *健診会場での絵本の配付は市民ボランティアと協働で実施。
- *平成29年度から布バックの配付は廃止。
- *平成30年度から事業名を、ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業に変更。
(未受診者は後日各図書館や、健康センターの訪問事業でも受け取ることができる)
- *令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民ボランティアの活動は中止した。また令和2年4月～6月の健康センターでの健診中止期間は、郵送にて絵本を配付した。

<障がい者サービス事業>

◇執行状況及び成果等

1 録音図書・雑誌等障がい者サービス利用状況

年度	テープ図書 (件)	テープ雑誌 (件)	デイジー図書 (件)	デイジー雑誌 (件)	点字図書 (件)	対面朗読		資料宅配 (回)
						(時間)	(回数)	
28	20	36	3,475	1,131	14	516	296	94
29	16	30	2,533	1,026	7	480	264	92
30	5	28	2,137	1,043	63	493	268	68
元	6	22	2,102	975	77	367	199	59
2	5	14	1,701	869	81	69	43	56

2 国立国会図書館視覚障がい者等データベース利用状況 (ダウンロード・ストリーミング)

年度	デイジー図書		デイジー雑誌		点字図書	
	提供数 (タイトル)	利用数 (件)	提供数 (タイトル)	利用数 (件)	提供数 (タイトル)	利用数 (件)
28	124	2,100	30	563	47	1,870
29	134	2,249	44	482	47	1,175
30	138	1,752	56	497	47	1,185
元	146	1,798	67	790	47	1,953
2	151	1,786	79	742	47	2,409

*平成26年9月よりデータベースへのデータ提供を開始。

3 行政協力員・ボランティア謝礼

(円)

年度	録音図書作製等	デイジー編集	対面朗読	資料宅配	点字本作製
28	297,060	267,360	309,600	65,800	7,700
29	102,710	112,620	288,000	61,600	7,100
30	207,850	190,880	295,800	47,600	49,300
元	117,310	125,420	220,200	38,500	75,000
2	192,890	176,750	41,400	36,400	50,700

事業カルテ (2年度決算)

図書館

10-05-03-929

地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり
	関連する施策	A2-1	—
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画		
関連する報告書など	多摩市の教育、多摩市の図書館		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩市立図書館所蔵の貴重資料と多摩市に関する記録(地域資料)を多く所有しているが、資料の経年劣化などの理由により、一般公開していないものが多いことから資料をデジタル化し、インターネットを通じて発信する。デジタルアーカイブの構築にあたり公益財団法人図書館振興財団の助成金を活用する。令和2年度からの新規事業である。		

◇令和2年度の事業の実施内容

事業開始の時期

令和2年度

事業の目的、 令和2年度の目標	地域資料・貴重資料等のデジタル化をし、デジタルアーカイブを構築して公開する。令和2年度は、多摩市史(通史編、通史編Ⅱ、民俗編)と多摩市の所蔵する貴重資料等をデジタル化する。
予算の執行方法	デジタルアーカイブ作成業務委託、ホームページ修正業務委託、サーバー使用料
事業の成果	多摩市史、市指定有形文化財『調布玉川惣画図』等の貴重資料をデジタル化し公開した。一般には公開していない資料をデジタル化することで、原資料を保存しながら、広く公開し、随時閲覧・鑑賞が可能となった。非来館で多摩市史での検索、多摩市発掘の縄文土器を高精細、3Dビューアで鑑賞できる等、多摩地域の歴史研究、学校教育、家庭学習で活用できるものとしている。

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	0千円	0千円	15,058千円
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	0千円	0千円	21,253千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円
	225千円				
間接経費					
職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	
《従事人員数》	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
6,195千円					
0.74人					
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	
0千円					

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	地域資料・貴重資料等の公開資料数	目標	—	100点	5,000点
		結果	—	114点	—
成果指標 (アウトカム)	地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブアクセス件数	目標	—	30,000件	120,000件
		結果	—	32,640件	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 推 移 標	今後の見通し	方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント	
	量的 的		財 一 源 般	令和3年度は、市制50周年記念誌、郷土写真等をデジタル化し公開を予定している。
N	A	B	イ	

＜地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業＞

◇執行状況及び成果等

1 事業の成果

市指定有形文化財『調布玉川惣画図』等の貴重資料、埋蔵文化財発掘調査で出土した縄文土器、『多摩市史』等をデジタル化し、インターネットを通じて公開した。一般には公開していない資料をデジタル化することで、原資料を保存しながら、広く公開し、随時閲覧・鑑賞が可能となった。また、高精細ビューアや3Dビューアで公開することにより、普段広げて見ることのできない大きな資料や立体物の内側や裏側をデジタル画像で見ることができる。

公開にあたり、多摩市文化振興財団、教育振興課との連携により「デジタルアーカイブ活用講座」を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、YouTube多摩市公式チャンネルで『調布玉川惣画図について』、『縄文土器について』の2講座の配信を行った。

主な公開資料

- ・『多摩市史（通史編、通史編Ⅱ、民俗編）』
- ・市指定有形文化財『調布玉川惣画図』
- ・市内和田・百草遺跡、向ノ岡遺跡の発掘調査で出土した縄文土器5点
- ・市指定有形文化財『関戸文書』や地区、錦絵、和装本など105点

2 事業に関連する経費

(円)

年度	合計	内訳			
		8節（報償費）	12節 （サーバー使用料）	13節（委託料）	
				デジタルアーカイブ 作成業務委託料	ホームページ修正 作業業務委託料
2	15,058,175	0	44,000	14,832,675	181,500

*公益財団法人図書館振興財団より、14,832,675円の助成を受けている。

事業カルテ (2年度決算)

図書館

10-05-03-931

多摩市立中央図書館整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	A2-1	B4-1	D1-4	F1-2	—	
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン、多摩市読書活動振興計画、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画、第四次多摩市生涯学習推進計画						
関連する報告書など	多摩市立図書館本館再構築基本構想、多摩市立図書館本館再整備基本計画						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	学校校舎を暫定活用している現本館の再整備に向けた取り組みを進めている。平成28年度に「基本構想」、30年度に「基本計画」を策定し、これらを基に基本・実施設計業務に取り組んできた。令和2年度予算から図書館本館再整備事業から中央図書館整備事業に名称変更している。						

◇令和2年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成28年度

事業の目的、 令和2年度の目標	暫定活用中の本館から、全市図書館システムの中心として、図書館サービス全体の充実を支えつつ、高度専門的な情報や多様な活動の場を提供する中央図書館の整備を目指す。令和2年度は、令和2年3月に完了する実施設計を基に建設工事の入札・契約を行い10月に着工する。また、着工後に伐採する中央公園の樹木を有効活用するため、体験型ワークショップ等を行う。
予算の執行方法	<ul style="list-style-type: none"> 設計変更に伴い令和2年度へ後ろ倒した「基本・実施設計業務委託料」を執行した 入札不調に伴い設計金額の時点修正を行うため、「中央図書館建設工事等に係る再設計業務委託料」を執行した 建設工事の先行工事として「電気設備切回し工事」を執行した 等
事業の成果	基本・実施設計は設計変更が必要になり、令和2年5月に完了した。続く建設工事の入札(6月～8月)は不調となったため、再設計(9月～10月)を行い、再入札(11月～2月)に臨んだ。再入札は落札され、契約議決を経て、3月に落札業者と契約締結した。これにより、建設工事及び中央公園の伐採木活用に係る体験型ワークショップの開始は令和3年4月からとなった。 なお、建設工事の先行工事である電気設備切回し工事は9月に完了した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	5,729 千円	320 千円	53,875 千円	8,344 千円	124,459 千円	
事業にかかる実コスト	17,296 千円	11,424 千円	66,476 千円	30,058 千円	141,201 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	900 千円	3,524 千円
	一般財源	5,729 千円	320 千円	53,875 千円	7,444 千円	120,935 千円
	間接経費					
職員人件費	11,567 千円	11,104 千円	12,601 千円	21,714 千円	16,742 千円	
《従事人員数》	1.25 人	1.26 人	1.50 人	2.53 人	2.00 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	建設工事及び伐採木活用プロジェクトを開始する。	目標	基本・実施設計をまとめる	建設工事・伐採木活用を開始する	建設工事・伐採木活用を開始する
		結果	基本設計をまとめた	建設工事の入札不調により、令和3年度に後ろ倒し	—
成果指標 (アウトカム)	建設段階においても市民参加や情報共有を行い、市民に求められる図書館の整備計画とする。	目標	基本・実施設計における市民参加、情報共有	建設段階における市民参加、情報共有	建設段階における市民参加、情報共有
		結果	ワークショップと市民説明会を行った	建設工事の入札不調により、令和3年度に後ろ倒し	—

特記事項

—

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
N	A	A	イ	令和5年5月の開館に向けて、中央図書館建設工事や伐採木の活用、移転準備等を着実に進める。

＜多摩市立中央図書館整備事業＞

◇整備の状況

1 平成28年度：図書館本館再構築基本構想の策定

学校校舎を暫定活用している現在の本館の恒久整備に向けた第一段階として、平成28年6月から、本館・分館のあり方を含めた全市図書館システムの再構築と、全市図書館サービスの充実を支えつつ、高度専門的な情報や多様な活動の場を提供する中央図書館について検討し、これらを平成29年3月に「基本構想」としてまとめた。検討にあたっては、基本構想策定委員会を設置し、策定委員会の審議とあわせて市民団体のヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。この基本構想を、中央図書館の整備に向けて、今後策定を予定する諸計画の基本的方針とする。

2 平成29～30年度：図書館本館再整備基本計画の策定

基本構想で示された将来像、検討課題を踏まえ、新本館の運営やサービス、資料、機能に応じた必要な施設の概要、整備費用の概算などについて、平成30年2月から検討し、これらを平成30年8月に「基本計画」としてまとめた。

検討にあたっては、多摩市立図書館本館再整備基本計画検討委員会を設置し、検討委員会の審議（全8回）とあわせて市民団体のヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。

3 令和元年度：図書館本館再整備基本設計の完了と実施設計業務の取り組み

基本設計業務については、基本計画で示された中央図書館像の実現に向けて、平成31年2月から検討を開始した。市と設計者の内部検討に加えて、ワークショップや市民説明会の市民意見も参考にしながら、設計の取り組みを進め、令和元年7月に基本設計をまとめた。

また、基本・実施設計の基礎資料とするため、並行して、敷地測量業務と地盤調査業務も行った。

令和元年8月からは、基本設計を基に、今後の建設工事に向けて、実施設計業務に取り組み、内容の具体化・詳細化、発注図書の作成を進めた。

4 令和2年度：実施設計の完了と建設工事の契約締結について

中央図書館整備に係る実施設計業務は、令和元年度中に完了する予定だったが、都市計画法に定める高度地区に係る部分で設計変更の必要が生じたため、契約期間を延長して作業を行い、令和2年5月に設計業務を完了した。

実施設計を基に、令和2年6月から8月に中央図書館建設工事と関連する付帯工事3件（計4件）の入札手続きを行ったが、不調となった。このため、9月に設計業者と再設計業務委託を締結し、設計内容と設計金額の一部直しなどを行い、11月から再入札の手続きに臨み、令和3年2月に4件とも落札された。令和3年3月議会で契約議決を得て、落札業者と令和3年3月15日に契約締結した。今後は、令和3年4月に着工し、令和4年12月に竣工、開館準備を経て、令和5年5月の中央図書館開館を予定している。

○ 事業に関連する経費（令和2年度）

名称	経費(千円)	内容
消耗品	174	中央図書館の環境性能を評価する掲示用プレートや広報用の資器材の購入等
図書館本館再整備基本・実施設計業務委託料	107,317	基本・実施設計業務委託の完了払い部分
多摩中央公園工事予定看板更新作業業務委託料	165	中央公園内に設置している中央図書館建設工事に伴う園路閉鎖・迂回のお問い合わせする看板の更新作業
中央図書館建設工事等に係る再設計業務委託料	1,716	建設工事に係る入札手続きが不調になったため、再入札に向けて、実施設計の一部見直し業務を行った。
建築物環境性能評価取得業務委託料	77	中央図書館が、省エネ・省CO2性の高い環境配慮型の公共建築物であることを証明するために、第三者認証による環境性能評価を取得した。
多摩市立中央図書館建設に伴う電気設備切回し工事	15,010	中央図書館の整備予定地に埋設されている中央公園内の電気設備等の移設工事を建設工事に先行して行った。
合計	124,459	

10-05-04-662

ハヶ岳少年自然の家管理運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	教育基本法第12条第2項 社会教育法第5条第1項第14号			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A2	人と学びを未来につなぐまちづくり			
	施策	2	豊かな心を育む教育の推進			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン 多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム					
関連する報告書など	指定管理者 管理運営評価シート、多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	小・中学生及び青少年団体がハヶ岳の雄大な自然の中で、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、昭和55年に施設を開所。平成15年10月に使用料を、平成25年1月に利用料金の見直しを行った。平成20年4月から指定管理者制度を導入し、更なるサービス向上を図った。平成30年4月からは仕様の見直しや宿泊利用料金・食事料の見直し、暖房料の新設を行い、指定管理料の見直しを図った。令和2年4月分からは、市の公共施設使用料の改定に伴い利用料金の見直しを行った。					

◇令和2年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和2年度の目標	指定管理者による施設の適正な管理運営の実施とともに、利用者への一層のサービス向上に努める。施設の効率的活用と収入増のために施設の利用促進を図る。また、持続的な運営継続に向け、施設の利用促進のためのPRを図る。
予算の執行方法	指定管理者との協定に基づく指定管理料、火災保険料、地域振興協力負担金を執行した。
事業の成果	施設、設備を安全に利用できるよう管理し、小中学生をはじめとした市民に、市内ではできない貴重な自然体験の場を提供するようにした。しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、4・5月は全館休館、6月から長野県民に限り制限付きで利用を再開、7月以降は、感染予防に配慮しながら全ての方の利用を可能とするなどして施設の運営にあたった。その後も緊急事態宣言等による不要不急の外出自粛の要請、多摩市立小中学校の移動教室がすべて中止となった影響等により、利用者は例年に比べ大幅に減少することとなった。一方で、近隣の保育園・学校・少年団体等に電話や手紙による、施設紹介・営業活動を行った。

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	112,606 千円	132,766 千円	66,794 千円	67,357 千円	67,960 千円	
事業にかかる実コスト	115,382 千円	135,410 千円	69,314 千円	69,932 千円	70,471 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	112,606 千円	132,766 千円	66,794 千円	67,357 千円	67,960 千円
	間接経費					
職員人件費	2,776 千円	2,644 千円	2,520 千円	2,575 千円	2,511 千円	
《従事人員数》	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	施設の開所日数	目標	366日	365日	365日
		結果	348日	304日	—
成果指標 (アウトカム)	施設を利用し、ハヶ岳の雄大な自然に触れた人数	目標	11,400人	11,600人	10,000人
		結果	11,112人	1,095人	—

特記事項

新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の臨時休所(全館休所:令和2年4月1日～5月31日の61日間)

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
N	B	B	イ	より多様な団体への利用の促進を図るなど施設の稼働率の向上に取り組み、持続的運営を図る。また、7年後の施設のあり方について、検討する必要がある。

<八ヶ岳少年自然の家管理運営事業>

◇ 執行状況及び成果等

平成20年4月から、指定管理者制度を導入し、指定管理による八ヶ岳少年自然の家の管理・運営を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、移動教室が中止となったためその代替案として希望のあった小学校(12校)に八ヶ岳少年自然の家出前事業として、「森林教室」と「丸太切り体験」を実施した。

1 八ヶ岳少年自然の家管理運営経費執行状況

経 費	令和2年度
役務費(火災保険料)	121,910円
委託料(八ヶ岳少年自然の家指定管理料)	66,200,000円
負担金・補助金及び交付金(地域振興協力負担金)	1,638,000円

2 八ヶ岳少年自然の家利用状況

年 度	小学校・中学校移動教室等		一 般 団 体 等		延利用人員 合計 〔延べ宿泊人員〕
	学校数	延利用人員	団体数	延利用人員	
28	35	8,225人	462	12,883人	21,108人〔12,227人〕
29	35	7,967人	445	14,158人	22,125人〔12,810人〕
30	39	8,795人	379	10,106人	18,901人〔11,075人〕
元	43	9,418人	369	9,475人	18,893人〔11,112人〕
2	0	0人	133	2,013人	2,013人〔1,095人〕

事業カルテ (2年度決算)

教育振興課

10-06-01-667

学校開放費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	学校教育法第137条、社会教育法第44条、スポーツ振興法第13条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	第二次多摩市教育振興プラン					
関連する報告書など	多摩市の教育					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和50年12月から市内の小中学校施設等の開放を実施。平成13年3月から夜間照明設置3中学校の学校開放実施(冬季休止。現在は通年開放)。平成26年度から学校開放有料化を実施し、あわせて他の学校開放と使用手続き統一のため夜間照明設備の施設予約システムから離脱。平成28年度から学校開放管理システムを本格稼働。					

◇令和2年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和2年度の目標	地域の拠点である学校(小学校17校・中学校9校)を、学校教育に支障のない範囲で、学校施設を市民等10人以上の団体に開放することで、学習、文化及びスポーツ等の活動の場として提供し、多摩市における社会教育の振興を図る。学校開放に必要な備品及び施設の補修等を実施する。
予算の執行方法	学校開放に係る学校開放管理業務委託、維持管理のための修繕、光熱水費、消耗品等の支出。市内の委託店舗3店における、学校開放団体への施設使用券の販売により使用料の徴収を行った。
事業の成果	学校開放は、緊急事態宣言等の状況において学校の教育活動を優先するため、停止、時間短縮等の制限をした。学校開放を再開するにあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新たな使用ルールを設定し、ルールの徹底のため中学校9校を会場として全学校開放団体を招集し説明会を開催した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
決算額(単位:千円)	98,890 千円	118,332 千円	100,598 千円	70,027 千円	41,777 千円		
事業にかかる実コスト	110,639 千円	131,164 千円	114,202 千円	85,186 千円	57,164 千円		
内 訳	直接経費	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		都支出金	0 千円	21,400 千円	12,000 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他特定財源	30,956 千円	30,547 千円	31,102 千円	12,811 千円	3,287 千円
		一般財源	67,934 千円	66,385 千円	57,496 千円	57,216 千円	38,490 千円
	間接経費	職員人件費	10,271 千円	9,782 千円	10,165 千円	11,672 千円	11,385 千円
	《従事人員数》	1.11 人	1.11 人	1.21 人	1.36 人	1.36 人	
	その他の人件費	1,478 千円	3,050 千円	3,439 千円	3,487 千円	4,002 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	学校施設の市民開放	目標	26校	26校	26校
		結果	26校	26校	—
成果指標 (アウトカム)	使用者延べ人数(クラブハウスを除く。)	目標	340,000人	340,000人	300,000人
		結果	288,316人	109,720人	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
N	B	B	イ	—

〈学校開放費〉

◇執行状況及び成果等

学校開放費（令和2年度事業経費 41,777,028円）

1 開放学校数

- (1) 小学校 17校
- (2) 中学校 9校

2 令和2年度学校開放使用状況集計表

[小学校]

学校名	体育館		校庭		特別教室		テニスコート		プール	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
多摩第一小学校	53	1,063	62	3,870	0	0				
多摩第二小学校	19	394	34	699	0	0			0	0
多摩第三小学校	28	411	56	1,306	0	0				
連光寺小学校	25	387	74	2,214	0	0				
北諏訪小学校	22	387	60	2,081	0	0				
東寺方小学校	12	184	66	2,774	2	8			0	0
南鶴牧小学校	40	797	65	4,517	0	0				
聖ヶ丘小学校	17	405	60	2,033	0	0				
西落合小学校	24	340	58	2,101	0	0				
大松台小学校	31	587	83	4,437	26	276				
諏訪小学校	65	1,118	71	4,631	6	105				
永山小学校	44	724	100	3,746	16	297			0	0
瓜生小学校	20	146	62	1,289	15	204			0	0
東落合小学校	25	255	74	1,830	29	374				
貝取小学校	32	315	60	1,944	0	0				
豊ヶ丘小学校	47	917	59	2,287	1	20				
愛和小学校	24	296	60	2,061	0	0				
計	528	8,726	1,104	43,820	95	1,284			0	0

[中学校]

学校名	体育館		校庭		特別教室		テニスコート		プール	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
多摩中学校	35	383	58	2,586	0	0	26	445	0	0
東愛宕中学校	25	246	16	836	3	40	0	0		
和田中学校	27	297	36	1,611	0	0	72	513		
諏訪中学校	35	381	38	1,079	0	0	34	356		
聖ヶ丘中学校	19	132	4	107	11	29	96	841		
鶴牧中学校	36	569	47	1,049	0	0	53	729		
多摩永山中学校	14	158	64	1,579	0	0	16	346		
落合中学校	23	300	42	30,938	3	51	2	24		
青陵中学校	28	456	0	0	0	0	42	520		
計	242	2,922	305	39,785	17	120	341	3,774	0	0

合計	770	11,648	1,409	83,605	112	1,404	341	3,774	0	0
----	-----	--------	-------	--------	-----	-------	-----	-------	---	---

〔小学校〕

	夜間照明付校庭		陶 芸 窯		学校開放小計		クラブハウス		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
多摩第一小学校			0	0	115	4,933			115	4,933
多摩第二小学校			0	0	53	1,093			53	1,093
多摩第三小学校			0	0	84	1,717			84	1,717
連光寺小学校			0	0	99	2,601			99	2,601
北諏訪小学校			0	0	82	2,468			82	2,468
東寺方小学校			0	0	80	2,966			80	2,966
南鶴牧小学校			0	0	105	5,314			105	5,314
聖ヶ丘小学校			0	0	77	2,438			77	2,438
西落合小学校			0	0	82	2,441			82	2,441
大松台小学校			0	0	140	5,300			140	5,300
諏訪小学校			0	0	142	5,854			142	5,854
永山小学校			0	0	160	4,767			160	4,767
瓜生小学校			0	0	97	1,639			97	1,639
東落合小学校			0	0	128	2,459			128	2,459
貝取小学校			0	0	92	2,259			92	2,259
豊ヶ丘小学校			0	0	107	3,224			107	3,224
愛和小学校			0	0	84	2,357			84	2,357
小学校 合計			0	0	1,727	53,830			1,727	53,830

〔中学校〕

	夜間照明付校庭		陶 芸 窯		学校開放小計		クラブハウス		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
多摩中学校			0	0	119	3,414	196	1,648	315	5,062
東愛宕中学校			0	0	44	1,122	174	1,286	218	2,408
和田中学校	100	2,931	0	0	235	5,352	140	1,848	375	7,200
諏訪中学校			0	0	107	1,816	137	876	244	2,692
聖ヶ丘中学校			0	0	130	1,109	168	1,347	298	2,456
鶴牧中学校	72	3,627	0	0	208	5,974	86	717	294	6,691
多摩永山中学校	91	2,695	0	0	185	4,778	182	1,488	367	6,266
落合中学校			0	0	70	31,313	200	1,980	270	33,293
青陵中学校			8	36	78	1,012	275	2,475	353	3,487
中学校 合計	263	9,253	8	36	1,176	55,890	1,558	13,665	2,734	69,555

総 合 計	263	9,253	8	36	2,903	109,720	1,558	13,665	4,461	123,385
-------	-----	-------	---	----	-------	---------	-------	--------	-------	---------

3 学校開放施設別（過去5年間）の使用状況

単位：件
人

施設等	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度	令和2年度
体 育 館	件数	7,638	7,557	7,366	6,702	770
	人数	144,105	144,255	131,637	124,534	11,648
校 庭	件数	2,580	2,328	2,544	2,205	1,409
	人数	113,854	102,558	110,165	96,054	83,605
特 別 教 室	件数	2,349	2,507	2,338	2,023	112
	人数	51,929	53,986	46,272	44,052	1,404
テニスコート	件数	719	637	711	579	341
	人数	9,527	7,560	7,801	7,028	3,774
プ ー ル	件数	11	9	10	8	0
	人数	736	520	655	507	0
夜間照明設備付校庭	件数	467	440	481	425	263
	人数	17,033	16,545	15,819	15,851	9,253
陶 芸 窯	件数	71	67	70	54	8
	人数	285	279	348	290	36
学校開放計	件数	13,835	13,545	13,520	11,996	2,903
	人数	337,469	325,703	312,697	288,316	109,720
クラブハウス	件数	5,591	5,666	5,821	4,958	1,558
	人数	71,083	71,544	71,974	58,378	13,665
合 計	件数	19,426	19,211	19,341	16,954	4,461
	人数	408,552	397,247	384,671	346,694	123,385

平成26年度から学校開放（クラブハウスを含む。）の有料化を実施

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、使用停止や時間短縮を実施

事業カルテ (2年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-669

スポーツ推進委員費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法 第32条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画、第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	スポーツ基本法第32条の規定に基づき、昭和38年度から、スポーツ推進の為の事業の実施に係る連絡調整並びに市民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うため、スポーツ推進委員を配置している(旧体育指導委員)。スポーツ推進委員協議会を設置し、研修部会を置くなど運営体制も工夫しながら、市民ニーズに則したスポーツ推進事業を実施している。					

◇令和2年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和2年度の目標	スポーツの実技指導やスポーツに関する指導及び助言を行うとともに、子どもから高齢者まで幅広く楽しめるニュースポーツ等の普及活動を行うことを目的として、スポーツ推進委員を配置している。また前年に引き続き、スポーツ推進委員協議会の主管事業としてノルディックウォーキング体験教室を実施し、健幸都市(スマートウェルネスシティ)の一助となるよう活動を行う。
予算の執行方法	委員報酬及びスポーツ振興に係る事業実施に係る経費、スポーツ推進委員の資質向上のための研修などに関する支払い。
事業の成果	市民に対してのスポーツの実技指導やスポーツ事業の実施、地域でのスポーツ事業への協力により、子どもから高齢者まで幅広い市民がスポーツに触れ、継続的なスポーツ実施へ寄与した。なお、令和2年度は年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響下であり、事業の中止や活動の減少が続いたことから、成果指標である事業の実施回数や参加者数が減少する形となった。

◇事業にかかる費用

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	4,210 千円	4,100 千円	4,091 千円	4,218 千円	4,009 千円	
事業にかかる実コスト	10,595 千円	10,093 千円	9,215 千円	9,367 千円	7,776 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	4,210 千円	4,100 千円	4,091 千円	4,218 千円	4,009 千円
	間接経費					
職員人件費	6,385 千円	5,993 千円	5,124 千円	5,149 千円	3,767 千円	
《従事人員数》	0.69 人	0.68 人	0.61 人	0.60 人	0.45 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	スポーツ推進委員の活動回数(会議及び事業従事回数)	目標	900回	900回	900回
		結果	1,091回	805回	-
成果指標 (アウトカム)	スポーツ推進委員主催・主管事業への参加者数	目標	1000人	1000人	700人
		結果	752人	346人	-

特記事項

令和2年度は、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響下であり、市内での感染拡大防止を優先し、中止とした事業があった。

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源 一般		
N	B	B	イ	市民一人ひとりが様々なスポーツを体験する機会を充実させることが求められていることから、引き続きスポーツ推進委員の人材確保が必要である。また、コロナ禍でも市民の運動機会を維持するべく、感染状況を考慮しつつ、事業を積極的に行っていく必要がある。令和2年度も取り組んできた、安心・安全に事業を実施できる方法の確立や感染防止策の徹底を今後も継続し、事業の維持に取り組む。

<スポーツ推進委員費>

◇執行状況及び成果等

- 1 スポーツ推進委員 任期 2年 定数 22人
令和2年度 委員数 18人（令和3年3月31日現在）
- 2 スポーツ推進委員協議会
スポーツ推進委員で構成されている。協議会は会長・副会長を置き、全体会、総務会及び企画研修部、第一事業部、第二事業部の各専門部会で構成する。
- 3 スポーツ推進委員協議会開催状況及び報酬内訳

(1) 開催状況

年 度	28	29	30	元	2
スポーツ推進委員協議会 (全体会)	12回	12回	13回	12回	12回
総務会（役員会）	12回	12回	12回	12回	12回
研修部会	11回	11回	—	—	—
企画研修部会	—	—	12回	11回	13回
事業部会	10回	11回	—	—	—
第一事業部会	—	—	12回	11回	12回
第二事業部会	—	—	11回	12回	13回
プロジェクト部会	—	10回	—	—	—

(2) 報酬内訳 (円)

年度	委員報酬額	月額単価
28	3,660,800	委員 17,600
29	3,626,139	委員 17,600
30	3,502,400	委員 17,600
元	3,784,000	委員 17,600
2	3,643,200	委員 17,600

4 スポーツ推進委員の活動（令和2年度）

審議・報告事項	
(1)	<p>主な活動</p> <p>①地域におけるスポーツ活動の企画・運営支援、及び各種ニュースポーツの指導</p> <p>②各地域団体に所属し、スポーツを通じた生きがいづくり、健康・体力の保持増進を促す。</p>
(2)	<p>協議会活動</p> <p>①主催・主管事業</p> <p>ア 「ニュースポーツラリー」の実施 令和3年2月20日（土）（総合体育館 第1スポーツホール） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となった。</p> <p>イ 「ニュースポーツ体験教室」の実施 令和2年6月～11月のうち6回実施（総合体育館 第2スポーツホール） ※全8回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部中止となった。</p> <p>ウ 「多摩市ポッチャフレンドカップ大会」の実施 令和2年12月12日（土）（総合体育館 第1スポーツホール）</p> <p>エ ニュースポーツの研究・普及</p> <p>オ 「Let's go スポーツ広場 in ナントヨ」（グラウンド・ゴルフ）の実施 毎月第2・第4木曜日（南豊ヶ丘フィールド） 令和2年9月～令和3年3月のうち8回実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止となった。</p> <p>カ 「Let's go スポーツ広場 in ナントヨ グラウンド・ゴルフ大会」の実施 令和2年10月22日（木）（南豊ヶ丘フィールド）</p> <p>キ 新春歩こう会 令和3年1月20日（土）（市内～川崎大師） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となった。</p> <p>ク ノルディックウォーキング体験教室 令和2年9月～12月のうち4回実施（多摩市中央公園 他） ※全8回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部中止となった。</p> <p>ケ 多摩市スポーツ推進委員だより「Let's go スポーツ」の発行（1回） 発行部数 1,000部</p> <p>②主要協力事業</p> <p>ア 快汗スポーツDAY（多摩市他）</p> <p>イ 自治連スポレク（自治連合会）</p>
(3)	<p>地域協力事業</p> <p>ア 青少年問題協議会地区委員会（青少年問題協議会）</p> <p>イ 市内スポーツ振興会</p> <p>ウ 市内小学校・児童館</p>
(4)	<p>その他の活動</p> <p>ア 東京都スポーツ推進委員協議会理事会</p> <p>イ 多摩市青少年問題協議会委員</p> <p>ウ 多摩市スポーツ推進審議会</p> <p>エ 第6ブロック研究会（南多摩5市）及びブロック間のスポーツ推進委員間の情報交換（開催地：稲城市）</p> <p>オ 市内地域運動会等への協力</p> <p>カ 各種研修会等への出席</p>

事業カルテ (2年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-670

スポーツ教室運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画、第4次多摩市生涯学習推進計画、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取り組み方針					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	スポーツを通じた健康づくりや地域コミュニティの醸成など、豊かな暮らしに寄与する事業を行っている。体育協会、各加盟団体、スポーツ推進委員、大学、市民団体及び民間事業者など、多様な担い手と協働することで、事業の充実を図っている。					

◇令和2年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和2年度の目標	市民誰もがスポーツに親しみ、身体を動かす楽しさを知り、自分に合った生涯スポーツを見つけてもらうために、運動の苦手な人でも気軽に参加できるような事業を実施する。より多くの市民が参加することを目標に、様々な事業を実施する。
予算の執行方法	各種スポーツ教室等を実施するための講師謝礼、消耗品購入費などを支払った。
事業の成果	新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛が続く中でも、感染症対策を徹底しながら屋外ヨガ教室の実施する等、市民の運動習慣づくりに貢献した。また、読売巨人軍との協働により、市内幼稚園や保育園への訪問事業、市内小学校への現役選手派遣事業等を実施し、幅広い世代がスポーツに触れ、理解と関心を高めるきっかけを作ることができた。

◇事業にかかる費用

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	1,211 千円	3,741 千円	1,914 千円	5,119 千円	697 千円	
事業にかかる実コスト	3,524 千円	11,937 千円	7,290 千円	10,268 千円	5,720 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	478 千円	510 千円	770 千円	1,000 千円	310 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	60 千円	2,287 千円	41 千円	2,578 千円	0 千円
	一般財源	673 千円	944 千円	1,103 千円	1,541 千円	387 千円
	間接経費					
職員人件費	2,313 千円	8,196 千円	5,376 千円	5,149 千円	5,023 千円	
《従事人員数》	0.25 人	0.93 人	0.64 人	0.60 人	0.60 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	実施の事業	目標	7事業	6事業	6事業
		結果	12事業	3事業	-
成果指標 (アウトカム)	参加者数	目標	1,200人	1,200人	1,200人
		結果	3,225人	630人	-

特記事項

令和2年度は、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、市内での感染拡大防止を優先し、中止とした事業があった。

◇自己点検

成果 の 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
N	N	N	イ	事業実施にあたり、募集方法や事業PR方法について検討し、多くの市民に参加してもらえるよう工夫が必要となっている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみつつ、事業の実施可否判断や、外出自粛が続くことによる健康被害解消を目的とした事業実施などを検討する必要がある。

〈スポーツ教室運営事業〉

◇執行状況及び成果等

1 参加者数等

年度	大会・競技会	スポーツ教室・講習会等	参加者数 合計	経 費
28	259人	700人	959人	1,211,266円
29	-	815人	815人	3,741,154円
30	115人	1,707人	1,822人	1,913,531円
元	-	3,225人	3,225人	5,119,021円
2	-	630人	630人	696,853円

2 事業実績等

①平成28年度

事 業 名		実 施 時 期	実施回数(日数)	参 加 人 員
大会 競技会	みんなで走ろう 50m/100m走	11月13日(日)	1日	259人
	小 計			259人
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 等	小学生ゴルフ教室(前期)	5月14日～6月18日 全て土曜日	6日	16人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月8日～11月12日 全て土曜日	6日	16人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	8月8日(月)～10日(水)	3日	102人
	新春歩こう会(登戸から20km、武蔵小杉から10kmの川崎大師駅までのウォーキング)	1月22日(日)	1日	164人
	夢の教室	通年	12回	402人
	小 計			700人

②平成29年度

事 業 名		実 施 時 期	実施回数(日数)	参 加 人 員
大会 競技会	みんなで走ろう 50m/100m走	10月15日(日)	1日	0人 (雨天中止)
	小 計			0人
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 等	小学生ゴルフ教室(前期)	5月13日～6月17日 全て土曜日	6日	20人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月7日～11月11日 全て土曜日	6日	20人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	7月31日(月)～8月2日(水)	3日	120人
	新春歩こう会(登戸から20km、武蔵小杉から10kmの川崎大師駅までのウォーキング)	1月21日(日)	1日	143人
	陸上競技教室	11月18日(土)	1日	36人

夢の教室	通年	15回	476人
小 計			815人

③平成30年度

	事業名	実施時期	実施回数(日数)	参加人員
大会競技会	みんなで走ろう 50m/100m走	11月11日(日)	1日	115人
	小 計			115人
スポーツ教室・講習会等	小学生ゴルフ教室(前期)	5月13日～6月17日 全て土曜日	6日	21人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月7日～11月11日 全て土曜日	6日	24人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	7月30日(月)～8月1日(水)	3日	106人
	新春歩こう会(登戸から20km、武蔵小杉から10kmの川崎大師駅までのウォーキング)	1月27日(日)	1日	142人
	陸上競技教室	11月10日(土)	1日	46人
	夢の教室	通年	22回	660人
	読売巨人軍イースタンリーグ公式戦 市民無料招待試合	7月21日(土)	1日	491人
	読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(3校)	通年	7クラス	217人
小 計			1,707人	

④令和元年度

	事業名	実施時期	実施回数(日数)	参加人員
スポーツ教室・講習会等	小学生ゴルフ教室(前期)	5月11日～6月15日 全て土曜日	5日	20人
	小学生ゴルフ教室(後期)	10月5日～11月9日 全て土曜日	5日	23人
	八ヶ岳子どもサッカー体験事業	7月29日(月)～31日(水)、 11月16日(土)	4日	93人
	★ラグビー講座 「いちからまなぶ ラグビーのルール」	9月16日(金)、 10月27日(日)	2回	35人
	新春歩こう会(聖蹟桜ヶ丘駅から高幡不動駅までのウォーキング)	1月26日(日)	1日	0人 ※雨天中止
	夢の教室	通年	30回	996人
	読売巨人軍イースタンリーグ公式戦 市民無料招待試合	6月16日(日)	1日	778人
	★ジャイアンツ球場まで…歩こう会！！	6月16日(日)	1日	115人

★読売巨人軍 選手派遣事業(1校)	12月13日(金)	1日	571人
読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(3校)	通年	10回	296人
★読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問 事業(野球)(2園)	通年	4回	231人
★読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問 事業(ダンス)(1園)	5月16日(木)	1回	67人
★読売巨人軍 1軍オープン戦 小学生無料招待事業	3月14日(土)～ 3月15日(日)	2日	0人 ※コロナウイルス 感染症拡大により 中止
小 計			3,225人

※★は令和元年度より実施を開始した事業

⑤令和2年度

事業名	実施時期	実施回数(日数)	参加人員
★屋外ヨガ教室事業業務委託	10月8日	1日	210人
読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(4校)	通年	4回	269人
読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問 事業(野球)(1園)	通年	1回	151人
小 計			630人

※★は令和2年度より実施を開始した事業

※令和2年に関して、新型コロナウイルス感染症の影響で以下事業は中止となった。

- (1)小学生ゴルフ教室(前期・後期)
- (2)八ヶ岳子どもサッカー体験事業
- (3)陸上競技教室
- (4)新春歩こう会

事業開始年度

- ① 「快汗スポーツDAY」(平成9年度から) ※市民スポーツフェア(昭和54年度開始)を改名
※平成27年度より、指定管理者の指定事業及び自主事業となった
- ② 市民交流ゴルフ大会(多摩ヒルズゴルフコース)(平成5年度から)
- ③ 市民歩こう会(昭和54年度から)※新春歩こう会
- ④ みんなで走ろう50m/100m走(記録会)(平成5年度から)
※平成3年度の市民スポーツフェアの中で実施
※50m走は平成18年度から実施
※陸上競技場改修に伴い写真判定機が撤去されたため、平成30年度をもって事業終了
- ⑤ 陸上競技教室(平成17年度から)
- ⑥ 小学生ゴルフ教室(平成17年度から)
- ⑦ 八ヶ岳子どもサッカー体験事業(平成19年度から)
- ⑧ 夢の教室(平成28年度から)

- ⑨ 読売巨人軍イースタンリーグ 市民無料招待試合(平成27年度から)
※平成28年度、29年度は未実施
- ⑩ 読売巨人軍 学校訪問事業 ベースボール型授業(平成30年度から)
- ⑪ 読売巨人軍 選手派遣事業(令和元年度から)
- ⑫ 読売巨人軍 幼稚園・保育園訪問事業(野球・ダンス)(令和元年度から)
- ⑬ ジャイアンツ球場まで・・・歩こう会！！(令和元年度から)
- ⑭ 読売巨人軍 1軍オープン戦(令和元年度から)小学生無料招待事業
- ⑮ ラグビー講座「いちからまなぶ ラグビーのルール」(令和元年度から)

事業カルテ (2年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-672

スポーツ団体助成事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法第22条、第34条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画 第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	体育協会発足時の昭和48年から開始。従来、事務局経費及び各種事業費については補助金として支出してきたが、本来市が行うべきスポーツ振興6事業(市民体育大会、初心者講習会、ジュニア育成等)について平成18年度から業務委託とした。また、平成22年4月には、体育協会が一般財団法人化した。さらに、平成27年度から総合体育館等に指定管理者制度を導入したことに伴い、これまでの事業を指定管理者が行う業務と振り分け、その業務委託範囲を見直し、3事業(※)に集約した。平成30年度から31年度にかけて行われる多摩東公園改修工事により、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、多摩ロードレース大会及び武道祭が実施できなかったため、同事業への補助は行わなかった。					

◇令和2年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和2年度の目標	スポーツ基本法第34条に基づき、スポーツ団体が行うスポーツ振興のための事業に助成することにより、市民の健康の保持増進と各スポーツの技術向上を図り、もって多摩市のスポーツ振興に寄与することを目的としている。また、体育協会の自主的運営並びに組織のガバナンス強化を図るため、後方支援するとともに、広く市民がスポーツをする機会を提供する。	
予算の執行方法	体育協会に対して、本来、市が行うべきスポーツ振興3事業【(※)多摩市民体育大会開会式、多摩市民体育大会競技別大会、ジュニアスポーツ推進事業】を業務委託料として執行する。また、多摩ロードレース大会及び武道祭については補助金として執行する。	
事業の成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部実施が中止、制限されることとなったが、できる範囲内において、体育協会加盟団体の活動が行われ、多くの市民がスポーツに親しみ、満足感や達成感を味わうとともに、健康の保持・増進が図られた。また、たま広報へのスポーツ情報掲載など、必要な支援を行った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
決算額(単位:千円)	8,609 千円	8,673 千円	7,147 千円	6,432 千円	5,327 千円	
事業にかかる実コスト	10,367 千円	11,141 千円	8,827 千円	8,148 千円	6,583 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	8,609 千円	8,673 千円	7,147 千円	6,432 千円	5,327 千円
間接経費						
職員人件費	1,758 千円	2,468 千円	1,680 千円	1,716 千円	1,256 千円	
《従事人員数》	0.19 人	0.28 人	0.20 人	0.20 人	0.15 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標 (アウトプット)	団体助成事業実施回数	目標	35回	38回	35回
		結果	36回	22回	-
成果指標 (アウトカム)	各団体等において各種の事業を実施(参加者数)	目標	6,100人	9,000人	6,100人
		結果	6,984人	3,135人	-

特記事項

令和元年度は、多摩東公園改修工事により、多摩ロードレース大会、武道祭、市民体育大会一部競技が中止となったため事業実施回数及び参加者数が減少している。令和3年度の目標値は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ設定している。

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	B	B	I	感染症の影響も踏まえながら、体育協会の自主的かつ健全な運営を促すための支援を引き続き行っていく必要がある。

<スポーツ団体助成事業>

◇執行状況及び成果等

1 市民体育大会等実施業務委託

(円)

年 度	加盟団体数	委託金額
28	32団体	6,372,059
29	33団体	6,435,871
30	33団体	6,606,747
元	33団体	6,432,169
2	33団体	5,327,165

2 体育協会補助金

(円)

年度	28	29	30	元	2
武道祭	500,000	500,000	500,000	0	0
多摩ロードレース大会	1,737,000	1,737,000	0	0	0
合 計	2,237,000	2,237,000	500,000	0	0

※平成30年度の多摩ロードレース大会、令和元年度の武道祭および多摩ロードレース大会は多摩東公園改修工事のため実施していない。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。